

榴岡図書館の本棚

榴岡図書館では、月毎に展示を行なうだけでなく、ジャンルや作家別でもさまざまなコーナーをつくっています。

※シーズンによって展示は異なります。(右は昨年度7月の展示)



場所 一般書：小説棚の上 切り絵のPOPが目印
時代小説や歴史小説も作家別に揃えています。

場所 一般書：出入口付近の棚 (YA コーナーの裏)
クリスティエー文庫や刑事コロンボは
海外文庫シリーズのコーナーにあります。



場所 一般書：三角山の展示の横
赤ちゃんや子育て孫育てについての本は
出入口近くのコーナーにあります。



場所 児童書：よみもの棚の中
榴岡図書館司書のおすすめの
小説などを展示してます。



場所 児童書：おはなしのへやの前
横山光輝の三国志や鉄腕アトム、サザエさん
といったマンガもあります。



アカウント名

@sendai_lib



発行：仙台市榴岡図書館

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-8 パルシティ仙台 4F ☎295-0880

榴岡図書館だより

第 1 8 号
令和 3 年
3 月 1 日

My favorite book

『しんかんせんでおいかける!』

このコーナーでは、
榴岡図書館スタッフ
の「Favorite(お気に入り)」な作品や
作家を紹介します。

旅行にはトラブルが付き物だと思う。

以前、吹雪の中、必死で飛行場まで辿り着いたものの、肝心の飛行機が飛ばずに足止めを食らったことがある。もちろんこればかりではない。

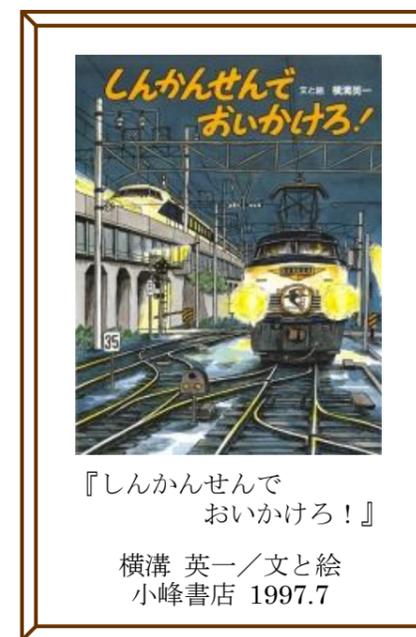
道に迷う。忘れ物をする。乗り換えを間違える。楽しみにしていたお店が既に閉店している。そのたびに浮かれていた気分から、一気に厳しい現実引き戻される感覚に陥る。「いってきます」から「ただいま」まで完全に計画通りにいった旅行などひとつもない。

ただ、そうしたトラブルのたび、駅員さんや運転手さん、ホテルの人といった現地の方々から親身に接していただいて、この優しさがとても身にしみる。「旅は道連れ世は情け」ということわざの通りである。

『しんかんせんでおいかける!』は、私が小さい時から読み親しんできた絵本である。寝台特急「はやぶさ」で西鹿兒島へ向かおうとする姉と弟。しかし、計画通りにはいかない。ひょんなことから姉が電車に乗り遅れてしまうのだ。楽しかった雰囲気から一転してハラハラする展開へ。取り残された姉は駅員の助けを借りながら、新幹線で「はやぶさ」を追いかけるという物語だ。

コロナ禍のいま、旅行をゆったりと楽しむ余裕は残念ながら持っていない。けれど、いつかまた旅行に行けるようになったら、その時は予期せぬトラブルさえも面白おかしく楽しんで、土産話のひとつにできたらと思う。

仙台市榴岡図書館 川村大吾



『しんかんせんでおいかける!』

横溝 英一／文と絵
小峰書店 1997.7

<関連資料>

- 『はしれはやぶさ! とうほくしんかんせん のりものえほん』 横溝 英一／文・え 小峰書店 2012.7
- 『夜行列車の記憶』 松本 典久／著 天夢人 2020.8